

艀装屋が仕掛けた
実用性重視のフィッシングボート

[26フィート カタマラン フィッシングボート]
SUNCAT-7.7HT Ⅲを徹底艀装！

カタマランならではの静止安定性と高い凌波性で定評のあるSUNCAT-7.7。センターウォークスルーの採用など釣り機能にも磨きをかけ、多くのファンを獲得しているこのボートのポテンシャルに着目し、「より使いやすいボートになるはずだ」との確信のもと、さらに完璧なフィッシングボートへアレンジすることでベストフィッシングボートは誕生しました。



標準仕様のSUNCAT-7.7HT Ⅲ



艀装後のSUNCAT-7.7HT Ⅲ



ボートが持つ個性と特徴

国産では珍しいカタマラン艇。V角度の大きい左右のフロートにより、ソフトな乗り心地を実現。ワイドなデッキと横揺れに強いカタマランならではの特徴は、船を止めて行う釣りには抜群の安定性を持っていることです。サイドを歩けるようにしたウォークアラウンドタイプではないのですが、ブリッジ中央にウォークスルーを設け、バウスぺースとリアスペースの両方で釣りを行える広いスペースをもった応用範囲の広いマルチバースボートと言えます。

標準装備として、140PS船外機1基、燃料タンク容量95ℓ、清水タンク容量33ℓ、個室トイレルーム、大型イキス容量70ℓを持っています。

オーナーが持つ目的（遊び方）

今回手掛けたボートのオーナーは大型艇を所有し、ビッグゲームフィッシングではカジキを多数釣り上げているキャリアを持ったオーナーですが、6～8月のビッグゲームフィッシングのシーズン以外に、少人数で沿岸のフィッシングを楽しむ目的でこのボートを選んでいました。

東京港内のシーバスキャスティング、水深100m以内のボトムフィッシング、沿岸20マイル以内のライトローリング&キャスティング、秋には沿岸近くにやって来るカジキも狙えるような本格的なフィッシングが楽しめる装備にすること。さらには子供たちや女性と同乗しても危険がなく、安全性のあるボートに仕上げていきたいという希望でした。

from my
Eyes.

このサイズのカタマラン艇は、波が高くなるとスピードが乗りにくく直進性もいまいとつて、外洋でフィッシングを楽しむボートとしてはモノハル艇に劣りますが、ボートの持つコンセプトとオーナーの指向に合った良いボート選びができたケースです。

ベストフィッティング・ボート
 艤装の実際……………

テーマとしてはキャストイング・ボトムフィッシング・ライトローリングの各フィッシングを存分に、さらにはビッグゲームフィッシングも本格的に楽しめるようにすること。基本的にトローリングはリアスペースで、キャストイング、ボトムフィッシングはリアスペースとバウスペースの両方で行えるようにする。また、フィッシング機能に留まらず、使いづらい所、より機能的になる所はどんどん手を加えていくという方向性で艤装をスタートしました。

・マリントイレ電動式 P.171
 ・イクス設備 P.119
 ・バッテリー設備 (ソーラーバッテリーを含む) P.196
 ・航海燈設備 P.222
 ・船底塗装 (ブラック) P.243
 ・GPS魚探プロッタ P.210
 ・海水ポンプシステム (デッキウォッシュ) P.166

・コクピットカバー (改造)
 ・追加燃料タンク (95ℓ)
 ・エンジン取付
 ・二基掛けキット

・ALAMBIC JRシール

【トローリング装備】
 マイポート・アウトリガーセット 1PR P.3
 ハリヤードラインセットA-1 1PR P.7
 ロッドホルダーボールタイプ Fig1118 2個 P.12
 サイドマウントロッドホルダー Fig404-1 2個 P.12

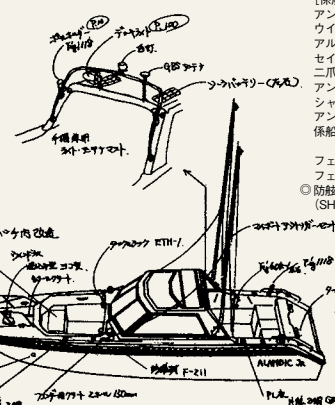
SUNCAT-7.7HT III 艤装プラン
 No.0135 1997.2.22

【ロッドラック装備】
 スターン部 アルミ製ポールスタンド P.22
 タックルラック DTR-3 左 DTR-3 右 P.16
 キャビン後部 手置兼用ライトアンテナマストに
 ボールホルダー Fig1118 2個 P.12 キャビン内
 パウコックピット部 タックルラック ETH-1 2個 P.16

【係船設備】
 アンカーローラー URM-2 P.151
 ウィンドラス ミニカール・埋込み型ヨコ型 P.150
 アルミ4ホールクリート 180mm P.156
 セイフティアンカー 7kg P.84
 ニ爪錨 6kg P.84
 アンカーチェーン φ8×3m 2本 P.84
 ジャックル φ8 4個 P.84
 アンカーロープ φ10×200m P.84
 係船索 φ14×12m 2本 P.154
 φ14×9m 2本 P.154
 φ160×600mm 4本 P.158
 フェンダー・日本製 2ホール150m P.156
 フェンダー用クリート F-211 全周 (後部を除く)
 ◎ 防舷材工事 (SH係船用ロープは別に用意する)

【法定安全備品】
 救命胴衣 7個 P.223
 救命浮環 1個 P.223
 消化用バケツ 1個 P.223
 風球 2個 P.223
 信号赤炎 1セット P.223
 赤燈セット 1セット P.222
 レーダーフレクター 1個 P.223
 JCI検査費用 一式
 代行手数料 一式

【ボトムフィッシング装備】
 パラシュート型アンカー FC-3.5N P.88
 マイポートロッドキーパー II 4個 P.106
 ◎ ボケット 4個 P.106
 ◎ ボックスキーパー 2個 P.107
 オプション PL床セット 2個 P.107
 電動リール用コンセント 2個 P.125



イラストはオーナーとの打合せに使用したベストフィッティングプランで、完璧なフィッシングボートへとアレンジするために描かれたものです

船上で快適に過ごすための装備

マリナ (自艇の海上係留バース) 用係船索

サンキャット7.7HTⅢは、全長7.7m、全幅2.6m、艇体重量約1.5トンであるため、マリナ用係船固定ロープは**ナイロクロスロープφ18mm**を選定し、艇体と擦れ合う部分は**ロープチャフガイド**で保護しています。

係船索

いろいろな寄港先で一時的係留することを考え、全長の2倍の15mを2本、7mを2本の合計4本を**ナイロクロスロープφ14mm**で用意しました。

防舷材の交換

艇体全周に回る防舷材に関しては、標準でラバー入りのアルミモールディングが付いていましたが、この船は**D型ゴムフェンダー** (天然ゴム製で中空クッション構造。防舷効果は抜群で耐久性があるもの) サイズ50×50mmに交換しました。理由とし



アンカーローラーの設置

この船は、バウデッキが大きく前方へ湾曲しているため、通常の取り付け方では前に傾斜しすぎてアンカーのフルーク(ブレード)が艇体に当たってしまいます。そのためFRPで加工した傾斜角

では、マリナでの出入港時に有効なこと、シーバスを狙ってキャストイングする際、橋脚や岸壁などの障害物が多い付近でフィッシングを行うことによります。このケースのように新艇から交換する方法もありますが、障害物に当ててしまうことが多い船は、交換するのではなく、**キングベンドル、キングフェンダー**でよく当ててしまう所に固定するという方法でも良いと思います。

ウィンドラスの設置

艇体重量1.5トン、ボトムフィッシング時にアンカーリングをする海底の深さは最大50mという条件であるため、**ミニカール埋込み型**を選定。巻き揚げ能力よりも巻き揚げスピードの速さ(32m/分)で選び、アンカーローラーとの関係でヨコ型を装備しています。さらにウィンドラス後方に**アルミ製4ホールデッキクリート180mm**を追加しました。

の大きいスパーサーを作り、タテ型で船体取り付け面が長い**アンカーローラー URM-2**を選び装備しています。通常の装備の仕方としては、船体取り付け面積がある場合には直接付け、少ない場合には、**補強用チーク材**を間に入れて取り付けすることで解決できるはず。

パウロッカーの改造

パウロッカーのスペースは、カタマラン艇なので底が浅く、かなり幅があるものが用意されています。V型艇によく見られる底が深すぎるうえに三角スペースとなり、物が重なり合って収納性が悪いという難点は解消されますが、幅がありすぎることに對しての対策が必要になります。そこでロッカーの中央部にステンレス製の**トップハンドレール全長450×高さ150mm**を取り付け、耐水合板を接合して仕切ること2つのスペースを作り出しました。1つのスペースにはアンカーロープ、チェーン、セイフティアンカーが入り、もう1つのスペースに根掛かりしにくいニ爪錨、チェーン、フェンダ



ー、パラシュート型アンカーが入っています。係船索のような比較的に混乱しそうなものは、**ハンドレール全長460mm**を取り付けてローブストラップを使用して整理しました。パウロッカーの係船設備の収納は、全ての物が混乱することなくすぐに取り出せるようにすることが肝心です。

■係船設備		■係船索	
セイフティアンカー 7kg	1個	ナイロクロスロープφ14×15m	2本
ニ爪錨 6kg	1個	ナイロクロスロープφ14×7m	2本
鉄垂アンカーチェーン φ8×3m	2本	(片側アイ加工付)	
鉄垂アンカージャックル φ8	4個	両端アイフェンダー φ160×600mm	4本
アンカーロープ		テレスコープポートフック NO.55170	1本
ナイロクロスロープ φ10×200m	1巻	ローブストラップ	2箱
(ローブコース加工付)		パラシュート型アンカー FC-3.5N	1個
■マリナ用係船索			
ナイロクロスロープφ18×00m	5本	ローブチャフガード	5本
(片側ルー加工付)			

※本文中**ブルーの太字**で記された品名は、FMSカタログ内艤装品です

バウスペース & デッキ

サンキャット7.7HTⅢの最も特徴的な所は、バウスペースでサイドを歩けるようにした、いわゆるウォークアラウンドではないものの、ブリッジ中央にウォークスルーを設けバウスペースへのアクセスを楽にしていることです。フィッシングを行えるスペースは、このクラスのボートとしては十分な広さを持っています。

まず左舷前方より**PL座セット**を2個、**タックルラックETH-1シングル**、**ドリンクホルダーDRP-1**を装備。係船用フェンダーをセットする所が無いので航海燈横のスペースに**アルミ2ホールクリート150mm**を設置しました。この装備は両舷対称に行

いましたが、右舷には清水用蛇口がFRPボックスを使用して設置されているため、そのボックス内部を利用して電動リール用コンセント(**デッキコネクター2極**)を装備しました。この位置は、裏側に配電盤があるので非常に便利で工事がスムーズに行えました。

バウスペース全体の装備は、ボトムフィッシングには大変便利で最適なスペースが完成されていると確信していますが、キャストイングでバウデッキに上がりフィッシングすることを考えると、タックルラックETH-1シングルを船首側にもうひとつ追加してもよいと考えています。



PL座セットの装備位置に段差があり、工夫が必要でした。船尾側は段差が少ないため外舷側に位置していますが、ロッドキーパー150を除いては全てに対応できるので直接取り付けました船首側は段差が大きいため、このようにナイロン製スペーサーを用意しないと装備できませんでした。

バウスペースを利用したボトムフィッシングの実例です。**ボックスキーパー(セキスイ4&バケツ)**、その隣は**ロッドキーパーチビラーク**に両軸リール。さらにタックルラックにはチョイ投げのスピニングリールをセット。このようにPL座セットを適切な位置に装備することにより、マイボート・シリーズからいろいろチョイスして、自由にフィッシングを演出することができます。

キャビン (キャビン内部の艤装内容としては5項目)



1, 航海計器の選択と設置に関しては、運転席からの距離、設置場所の条件などから判断すると、画面は8~10インチサイズが適切です。いろいろなメーカーの商品を検討したのですが、前面ガラスの傾斜角度が強いことにより、ほかに入る機器類がなく、薄型で8インチの**フルノ・カラーGPSプロッタ魚探PS-8000MARK2**を選定。魚探の性能レベルから判断すると、2周波(50/200KHz)センサーを船底外付けにすることでオーナーの目的にかなうものとなりました。この設置場所はガラス面が多いので、真夏の日差しによる高温を避けるための対策として、前面ガラスに遮光フィルムを貼り計器を保護しています。サイドガラスにも貼りたかったのですが、アクリル製のガラスなのでそれはできませんでした。

2, 運転ハンドル左下に小物入れ用プラスチックケースを設置。GPSプロッタ魚探のリモコン、携帯電話、サングラス等を入れるために用意しました。このケースはカー用品コーナーへ行って探してきました。また、いろいろな所へ設置すると便利そうです。

3, 写真上に少しだけ見える左舷のサイドベンチシート。白いテープが貼ってある部分に、ステンレスパイプによって標準装備されていた背もたれクッションのステンレス部を外し、直接クッション本体をサイド壁面に装備しました。小物置き用のクボミ部分が少し使いづらくなりましたが、少しでも広くベンチシートを使いたいという考えからの改造でした。



4, 両舷の座席下物入れの入口部が標準では非常に狭く、内部が広いのに使いづらいので、強度的な問題がありましたが、思い切って上下FRPを切断し、市販のプラスチック製の買物カゴが入るようにしました。切断面は**フレックストリム・ホワイト100W1/4**で仕上げています。その後の運航で強度不足が問題になれば、ステンレス又はアルミ製のパイプを1本加えることで対策するつもりで切断しましたが今のところ問題は生じていません。

5, 運転席後ろのベンチシートサイドに**ダブルドリンクホルダーDRP-2**を設置。操船者用としては少し使いづらいのですが、リアデッキとの配置を考えてこの位置にしました。

多目的ゲートマスト&ソーラーバッテリー



多目的ゲートマストと命名しましたが、実はなんと呼んでもいいのかわからないのです。まず中央部に**白燈**、右に**GPSアンテナ**、左に**デッキライト**、この点から言えばライト、アンテナマスト。サイド下に降りてきて**ロッドホルダー PERKO 1118**

が付いて、ロッドラック。さらにハンドレールにもなるという製作物です。ステンレス製で全体が一体構造なので強度があり、デッキライトの配置上、高さがある方が人間の目に入りにくいのでこのようなデザインにしています。

このボートはエンジンが2基掛けなのでバッテリーは2個必要になります。そこで少し電力的に余裕を持ちたいため、米国製**GNBバッテリー PC30H100A**相当を搭載しました。この船のレベルから言えば、アクセサリー関係でGPSプロット魚探、デッキライト、電動リール用コンセント、電動マリントイレなどの使用を考えても、1日のフィッシングには十分な容量といえます。ソーラーバッテリーは不要ではないかと初めは考えたのですが、夕方に帰港して後片づけなどでデッキライトを

使用することでバッテリーを消費させたり、長期間乗らないことで自己放電して、乗りに来た時にエンジンが掛からないことを考え装備することにしました。

装備の仕方としては、**ソーラーパネルBL-103**をルーフトップ左右に付け、ゲートマストを利用して全ての電線とともに1ヶ所から船体内部へ引き込んでいます。さらに、このルーフトップはスライドルーフが付いているため、ソーラーパネルが入り込む高さまでスライドルーフを切り込んでいます。



リアシート



リアシートのハッチを開けると、中央部に大型イクス(容量70ℓ)、左右に燃料タンク(容量95ℓ)が配置されています。燃料タンク横の少し空いているスペースには**ウォッシュダウンポンプNO.4325**を装備。**ハンドレール**を装備して、**ローブストラップ**によってホースと係船索をラックするようにしました。左側ハッチ内部は、写真には写っていませんが、やはりタンク横の少し空いているスペースに予備オイルやウェスを収納しています。

海水出口として**ウォーターアウトレット金具**を船体に取付け、**ガードナー接続アタッチメント**によって**テトロンブレッドホース3m**に**スプレーヤー**を装備しました。



イクスはカタマラン艇のセンターポンツーンに位置するため、V型ボトム形状になっています。そのためスカッパーを一番低い部分に付けられないので海水が残るため、**ペイラー(あか汲み)**を用意しています。船首側**スカッパー(A-01)**に**水流調整パイプ(P-01)**を接合して、走航時の海水量を調整しています。手前に見える金具は船底外付けにした魚探センサー内面ですが、200KHz使用時に15ノットまで雑音を拾わない良い位置に装備できました。万が一水漏れがあってもイクス内なので安心です。



電動リール用**デッキコネクター2極**をハッチ金具のくぼみを利用して装備しました。ハッチ内部にはバッテリーが位置しているのでもわかりました。

エンジン2基掛け仕様とモーターウェルの利用



※本文中**ブルーの太字**で記された品名は、FMSカタログ内艦装品です

サンキャット7.7HTⅢは140PS1基が標準仕様なのですが、いろいろな条件を検討して70PSの2基掛けとしました。その理由として、1基掛けの場合にはエンジンにトラブルが発生した時のことを考えて、予備エンジンを搭載する方法がありますが、予備はほとんど使用しないため無駄があり、さらにメンテナンスをしていないと、いざ使用する時に動かない不安があります。2基掛けならば1基にトラブルがあっても片方のエンジンで航行できるはず。次にカタマラン艇なのでマリナーの出入りや、シーバスなどのキャストでハンドリングしやすいという面では、1基掛けよりも2基掛けのほうがはるかに上です。しかしデメリットとして装備に費用がかかること、メンテナンスが2倍かかること、燃料費なども1基掛けに比べロスがでるなどがあります。

船外機艇のスペースとして利用することが難しいモーターウェル部分に**ロッドラックDTR-2、DTR-3**をチーク部分を改造して装備してみました。ロッドラックとしてギャフやタマのホルダーとしても有効で、スペース的に利用しにくい場所を最大限に活用できたと考えています。

FMSマリンカタログ内のフィッシング用品や艦装品を使用して、ベストフィッシングボートを提案しました

リ ア ス ペ ー ス デ ッ キ



ロッドホルダーの設置

船尾よりポールタイプロッドホルダー **PERKO 1118**、サイドマウント型 **PERKO 404-1**、キャビン側手摺にはロッドラックとして **PERKO 1118** を装備。カジキのストライク時のドラッグ強度が5kg前後になることを考えると、上記のようなヘビータイプのロッドホルダーが必要です。サイドマウント型の位置に埋め込み式のホルダーを設置する方法もあるのですが、このポートの場合ブルワークに穴を開け、ホルダーから入った水を外に出す方法が非常に複雑になるため、サイドマウント型を最終的に選んでいます。しかしサイドマウント型にすること

によって後方のロッドホルダーとラインが重なり合う問題が生じてしまいます。そこでとても迷った選択でしたが、後方のロッドホルダーに使用するロッドをカーブバットにすることで解決しています。

カジキを狙わないライトローリングでセッティングするなら、船尾からポールタイプロッドホルダー **PERKO 1215**、サイドマウント位置にPL座セットを利用して **マイポート・ロッドホルダー**、キャビン手摺位置には **PERKO 1215** で十分な装備であると考えます。

またロッド、リールの落下防止用 **ロッドセイフティーライン** は、ナイロン製のハンドレールよりエンドを取ることになっています。

ボトムフィッシング用ロッドキーパー（PL座セット）の設置



PL座セットを利用したボトムフィッシング。キャビンエンドからステンレス製スターンレールまでのスペースで検討するという条件は、トローリング設備とからみ合うことで難しさがありました。それはPL座セットの位置をキャビンエンド側にするか、スターンレール側にするかという問題です。ボトムフィッシングの条件として、魚の取り込みを考えると写真の位置（スターンレール側）ですと、

リアシートがあるため人が入っていきません。逆にキャビンエンド側ですと、アウトリガーハリヤードセット及びロッドラックにトローリングロッドがセットしてあるとかなりの障害になってしまいます。検討した結果、トローリングとボトムフィッシングどちらもスタンバイ状態でフィッシングを楽しみたいという考えから、写真の位置（スターンレール側）にPL座セットを装備しました。

アウトリガーの設置

ライトタックル（30ポンドクラス）で沿岸近くによって来るカジキも狙いたい。このような要望があるので、アウトリガーの選択には難しさがありました。初めはミドル級アウトリガーホルダーを考えたのですが、このポートは設置面積がなく、取付けることができないため、ライトクラスの **アウトリガーセット** で装備することにしました。

設置場所はキャビン後部ウイング部分しかスペースがないのですが、

この部分は内側傾斜が強く、かなり大きな傾斜角をもったスパーサーが必要になるためFRPで製作しています。さらにFRPセミロッドの途中から船首方向へ補強用ローブをとり、曳釣りやカジキを狙うトローリング時に、ホルダーの船体取り付け部分を保護するように対策しました。このようにライトクラスのアウトリガーでも対策すれば、十分にビッグゲームフィッシングに適合するのです。アウトリガーホルダーの下に見えるのは、フェンダー用 **アルミ2ボルクリート150mm** です。



from my
Eyes.

このポートの場合、
実際には
装備していませんが…

●アルミ製ポールスタンド
小型艇でデッキスペースが少なく、長物をラックしておく場所がないケースがよくあります。このポートの場合実際には装備していませんが、この位置がベストと考え仮に配置させてみました。タマ、ポートフック、ギャフ、係船索、etc.。これらの物がこの位置にあれば船の全周に障害物はなくなり、フィッシングがしやすくなると考えます。

マイポート・ロッドキーパーⅡ、ロッドキーパーポケット、ボックスキーパー（セキスイ48） と並んでいます。リアシート後ろのハッチロ

ック下に小さく見える電動リール用コンセントは、電動リールを使用した、中・大物釣りに便利な位置といえます。

PL座セットの取付け



内舷より12mm以内の位置にステンレスを置き、φ4.2mmのドリルで穴を開けます。次にシリコン（接着性のあるシール材）を付け、タッピングネジでしっかりと固定して下さい。あとはPL座、ホルダーレールをのせ、ネジでセットして完成です。

※通常ロッドキーパーで使用する目的で、艇体取付け部に厚さがあればタッピングネジは4本セットすることで十分です。ロッドホルダーの場合は必ず6本セットして下さい。

※本文中 **ブルーの太字** で記された品名は、FMSカタログ内臓装備です



ボトムフィッシングの実際

マイボートフィッシング。実際に海上に出たボトムフィッシングの例です。カタマラン艇なのでローリングが少なく、ボートはとても安定しています。アンカーによる掛かり釣り、パラシュート型アンカーによる流し釣り、この2つの方法でフィッシングは十分に楽しめるはずです。ローリングを意識しなければ、**スパンカーを装備して適用する船舶の条件**に入るボートなので、思い切ってスパンカーを装備する方法もありますが、深いポイント、狭いポイントなどでボトムフィッシングを本格的に行わなければ必要ないアイテムであると考えます。



ベストフィッティングボートの完成

ライトローリング&曳釣りのためのマイボート・アウトリガーセット。
キャストイングのためのロッドラックETH-1、DTR-2、3。
ボトムフィッシングのためのマイボート・キーパー類、PL座セット。

ウインドラス、アンカーローラー、フェンダークリート、防舷材。
多目的ステンレスゲート、ソーラーパネル、デッキコネクター。
デッキウォッシュ、GPSプロッタ魚探、etc..

このように数々の艀装が施されたSUNCAT-7.7HTⅢ。製造メーカーのコンセプトをよく理解し、性能や構造的な部分を破壊しないように考えて、フィッシングの目的に合う艀装品を選び出し、無駄のない艀装を完成させることができたと確信しております。日本の海に合った沿岸でのフィッシングボートとして、さらに魅力が増していき、楽しいボートライフをおくることができるはずです…。

SUNCAT-7.7HT Ⅲ、全艀装内容

●トローリング設備

マイボート・アウトリガーセット	1PR
ハリヤードラインセットA-1	1PR
曳釣り用ポールラインセットA-1	1PR
ロッドホルダー PERKO 1118	2個
ロッドホルダー PERKO 404-1	2個

●ロッドラック設備

ロッドラックETH-1シングル	2個
ロッドラックDTR-2ダブル(改造品)	1個
ロッドラックDTR-3トリプル(改造品)	1個
ロッドラックPERKO 1118	2個

●ボトムフィッシング設備

マイボート・ロッドキーパーⅡ	2個
マイボート・ロッドキーパーチビラーク	2個
マイボート・ロッドキーパー受太郎DX	2個
マイボート・ボックスキーパー(セキスイ48)	2個
電動リール用・デッキコネクター 2極	3個

●パウデッキ設備

ミニカール・埋め込み型ヨコ型	1台
アンカーローラー URM-2	1個
アルミ4ホールデッキクリート180mm	1個

●パウロッカー設備

トップハンドレール全長450×高さ150mm	1本
ハンドレール全長460mm	1本

●パウスベース・デッキ設備

ドリンクホルダー DRP-1	2個
フェンダー用アルミ2ホールクリート150mm	2個

●キャビン設備

フルノ・カラー GPSプロッタ魚探PS8000-2	1台
ダブルドリンクホルダー DRP-2	1個
フレックストリム・ホワイト100W1/4	6m

●ルーフ&リアスペース・デッキ設備

多目的ゲートマスト(ステンレス製)	1台
ハログン・デッキサーチライト	1台
ソーラーパネルBL-103	2個

フェンダー用アルミ2ホールクリート150mm 2個

●リアシート用設備

ウォッシュダウンポンプNO.4325	1台
ウォーターアウトレット金具	1個
ガードナー接続アタッチメント	一式
テトロン・ブレードホースφ16mm	3m
ウォッシュダウン・スプレーヤー	1個
ハンドレール全長304mm	1本
ローブストラップ	1箱
ペイラー(あか汲み)小	1個
イクス・スカッパー A-01	2個
水流調整パイプP-01	1個

●その他設備

GNB/バッテリー PC30H	2個
全周防舷材 D型ゴムフェンダー 50×50mm20m	
電動マリントイレ	1台
コックピットカバー	1個

FMSマリンカタログ内のフィッシング用品や艀装品を使用して、ベストフィッティングボートを提案しました